

# 講座だより



【講師によるアドバイスの様子】

令和3年11月6日（土）に『養成コース第7回』を実施しました。養成コース第9回では実際に子どもたちを迎えて森林環境教育プログラムを実施します。実施に向けて今回から第9回までグループでプログラムの作成に取り組みます。講師は認定NPO法人しずおか環境教育研究会で長年環境教育の実践者として活躍をされている柴崎千賀子氏とホールアース自然学校の角田周一氏です。県立森林公園園森の家を会場に、グループのメンバーと協力して実習を行いました。

## 【午前】森林環境教育プログラムの企画（フィールドの確認・合意形成）

午前中は、これから企画するプログラムについて説明を行い、グループ決めを行いました。その後メンバーと一緒に講師の解説を聞きながらフィールドの確認を行い、プログラムを実施する場所を決めました。また講師の角田氏より、グループワークに入る前に「合意形成」について講義が行われました。この講義では森林環境教育の中で、なぜ合意形成について知ることが必要なのか語られ、グループで企画をする意義や、実際の環境教育の現場では複数人で協力しながら行うことが大切であることを学びました。



【フィールドでの作業の様子】



## 【午後】森林環境教育プログラムの企画（グループ実習）

【企画の話し合いの様子】



午後は、グループに分かれそれぞれの実施場所で扱う素材を決め、伝える内容を企画する実習を行いました。すぐに扱う素材が決まるグループもあれば、なかなか決まらないグループもありました。どのグループも互いのアイデアを聞き合いながら、子どもたちが楽しめるプログラムについて一生懸命に話し合いを進めました。具体的な構成の場面では、アイデアがまとまらないグループもありましたが、講師の柴崎氏と角田氏がそれぞれのグループを回りながら、作業を行いました。

＜発行元＞